

大分学習療法だより 大分シンポジウム特集号



2014年11月16日(日)、今年度活動計画の最大のイベント「学習療法 大分シンポジウム in 別府」が開催され、500名近くの参加者においていただきました。

本号はその特集号として、当日の様子と終了後のアンケート集計結果などをご報告いたします。

Program 学習療法 大分シンポジウム in 別府

プログラム

～あきらめないで！認知症!!～
2014年11月16日(日) 立命館アジア太平洋大学(APU)

オープニングセレモニー

- 主催者代表あいさつ …… 大分学習療法研究会 会長 首藤毅志(グランドホーム古国府 施設長)
- 来賓あいさつ …… 別府市長 浜田 博 様
- 導入事業所紹介 …… 学習療法導入事業所をビデオでご紹介します



第1部 基調講演

- 「脳を知り、認知症を予防する！」 ～脳科学から見た学習療法の効果～
東北大学 加齢医学研究所 所長 川島隆太先生

「僕がジョンと呼ばれるまで」予告篇上映

アメリカの介護施設で行われた、おばあちゃんたちの”チャレンジ” 学習療法を導入したことで、みんなが笑顔になる希望の物語 12月12日(金)パトリア日田で上映決定

第2部 事例発表

- 事例1「笑顔のちから」 ～くもん学習療法を通じた利用者とスタッフの変化～
障がい者支援施設 聖心園(臼杵市) 生活支援員 川上恵子
- 事例2「手と手の温もり」 ～あなたとの約束～
有料老人ホーム ケアマンションひだか(日田市) 生活相談員 河津孝州
- 事例3「学習療法を施設の得意にしよう」 ～和光園のジョンを目指して～
介護老人保健施設 和光園(宇佐市) 介護主任 地原 忍
- 事例4「学習療法の導入から脳の健康教室への展開の軌跡」 ～施設から地域へ～
社会福祉法人 みずほ厚生センター(臼杵市) 四季の郷デイサービスセンター 所長 疋田正三



総評・閉会

- ◆シンポジウムの総評 ……くもん学習療法センター 代表 大竹洋司 様
- ◆閉会あいさつ ……大分学習療法研究会 副会長 吹田カズエ(和光園 事務長)

オープニングセレモニー

◆主催者代表 挨拶 大分学習療法研究会 会長 首藤毅志 (グランドホーム古国府 施設長) 【研究会設立経緯】

私ども「大分学習療法研究会」は、県内における「くもん学習療法」の導入事業所で構成され、正しく学習療法を実施することで、認知症の方の症状の維持・改善だけではなく、対応するスタッフのスキルアップにもつながること、そのことが、ひいては事業所全体のケアの質の向上につながることを経験し、このすばらしさを、さらに追及し学びを深めるためには、ネットワークが必要だと感じた有志の集まりでございます。

【シンポジウム開催目的】

本日のシンポジウム開催目的は、認知症の方を支援されているご家族や福祉・医療関係の方々に、学習療法とはどんなものなのか、また実施することでどのような変化が起きているのかをお伝えすることです。追及すればするほど、学びの奥深さを感じる学習療法です。国家プロジェクトとして研究開発が進められて十年が過ぎました。そろそろ研究段階は終了しさらなる実践活用のステージを迎えようとしています。

【今後研究会に求められていること】

本日を起点として、国家プロジェクトとして開発された学習療法のネットワークをもっと広げていかなければなりません。そうすることが、認知症の方を個別に多職種でケアしていく、正に地域包括ケアにつながり、認知症で悩む方々が元気を取り戻し、笑顔があふれる地域づくりへと展開できると確信しています。



◆来賓挨拶 別府市長 浜田 博 様



昨今、認知症の進行による徘徊等が社会問題になっていますが、それ以上にご家族や支援者を悩ませているのが現状です。

別府市では、市内13店舗のセブンイレブンと異変情報連絡協定を結びました。たとえば、徘徊されている方を見かけたり、お客さんから聞いたなら市へ情報提供していただき、速やかに保護できるというものです。

これまで認知症治療としては、進行を遅らせたり、予防する薬やワクチンの研究がされていることは耳にしますが、今回はさらに一歩進んで、薬物に頼ることなく、認知症を予防・改善しようとする学習療法に関するシンポジウムと聞きました。糖尿病を始めとする生活習慣病と同様に国民病となりつつある認知症ですが、簡単な計算や読み書きで認知症の予防・改善が見込める学習療法でQOLの向上も期待できます。認知症の治療の選択肢が広がり、ご家族など介護者の負担軽減につながることはすばらしいことです。

研究会各事業所の紹介ビデオ上映



基調講演準備時間（5分程度）を利用して上映されたのが、会員事業所での学習の様子や取り組んでいることの紹介ビデオです。

クリスハートがカバーした小田和正の「たしかなこと」をBGMに、次々と事業所の様子が写真で紹介されました。途中で会場となったAPUのキャンパスの写真なども織り交ぜて作られていました。締めめのシーンは、福岡シンポジウムでも紹介した研究会のメンバーによる「学習療法を活かす学びに、参加しませんか〜！」でした。

第1部 基調講演



お馴染みの脳トレや楽しいゲーム、驚くべき研究結果などを交えたお話しに会場からも笑いやため息が聞かれ、プログラムの中でも最も好評だった川島先生のご講演



スマートエイジングの考え方 「華麗なる加齢を目指して！」



お子さんのネットや携帯使用 について質問する参加者

日本人の将来について「人口の変遷から絶滅危惧種となる可能性がある」と冒頭からショッキングなお話で始まりました。

それを回避するには、スマートエイジングを心掛けた生活が必要である。

その方法について、脳のテストや作動記憶のトレーニングを教えていただきました。

認知症は、加齢と共に訪れるものだが、早くからその予防・改善に努めなければならぬことを強く感じる講演でした。

質疑応答では、小中学生にインターネットなどを長く使わせると学力が低下するなど驚くべき研究データがあることも紹介していただきました。

基調講演への感想・ご意見から

- ①アンチエイジング、美魔女という言葉は何となく嫌と思っていたが、今日の講演で理由が分かりました。時分の花はかれたが、まことの花を咲かせたい。
- ②スマートエイジングという新しい言葉のような生き方をしたい。
- ③とても分かり易く勉強になった。たくさんの人に聞いて欲しいと感じた。
- ④独居、テレビづけの毎日、介護と毎日が憂鬱。しかし、今日の講演をきっかけに変わりたい。
- ⑤薬に頼らない認知症ケアにとっても共感した。国・行政の足並みが揃わないことが残念。
- ⑥人の生きる力を最大に出せるのだと感動しました。

「僕がジョンと呼ばれるまで」 自主上映会の予告篇

学習療法のアメリカでのトライアルが映画になり、認知症対策の非薬物療法として今全米で話題になっています。アカデミー賞のドキュメント部門にもノミネートされたことで、さらに話題になりそうです。大分県では、トップを切って日田市で自主上映会を開催。その予告篇を上映しました。



日田地区の会員さんで結成された僕ジョン自主上映会
実行委員の皆さん

期日：12月12日
場所：パトリア日田

上映時間

- ①10:30～12:00
- ②13:30～15:00
- ③15:30～17:00
- ④19:00～20:30

第2部 事例発表

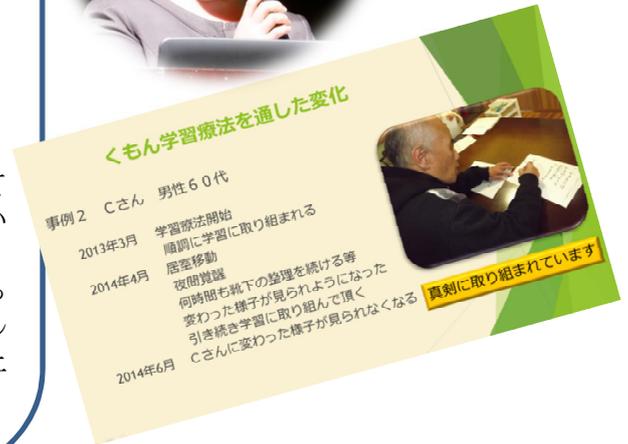
【事例1】

笑顔のちから

～くもん学習療法を通じた利用者とスタッフの変化～

障がい者支援施設／聖心園(臼杵市)
支援員／川上恵子

学習療法を障がい者の自立支援として、全国で初めて導入した事業所です。近年、利用者さんの対応について様々な課題が発生しています。日常生活を楽しく、意欲的に過ごす為には、新たな活動メニューが求められています。学習療法と出会ったことで、利用者さんの改善のみならず、職員の観察力などのスキルも向上していった事例をご紹介します。



事例発表への感想・ご意見から

- ①利用者の自分らしさを取りもどす過程を聞いて学習療法の良さを感じた。
- ②レベルの高い取り組みに感心しました。施設全体で一つになって実践されていることは素晴らしい。
- ③取り組みがとても積極的で素晴らしい。
- ④皆さんの熱意に頭が下がります。認知症のケアの広がりに対応するため学習療法をもっと知らなければ。
- ⑤一人ひとりのご利用者さんに、より良い支援をするために考え行動していることに魅力を感じました。

【事例2】

手と手の温もり

～あなたとの約束～

有料老人ホーム／ケアマンションひだか(日田市)
生活相談員／河津孝州

Kさんは施設の入居と同時に学習療法を始めました。毎日が楽しくて、親しくなった友人のMさんと生き生きと過ごしていました。ところが、入院をきっかけに再開した学習にも意欲がみられなくなりました。意欲の低下とともに認知機能も低下。そこで始まったのが、Mさんの協力作戦。学習療法を通じて強まっていくお二人の友情が、楽しい日々を取り戻す経過を紹介しました。



第2部 事例発表

【事例3】

学習療法を施設の得意にしよう ～和光園のジョンを目指して～

介護老人保健施設／和光園(宇佐市)
介護主任／地原 忍さん

認知症の短期集中リハビリと終了後のフォローアップ対策として導入した「学習療法」。全国シンポジウムの事例発表や研究会の学びなどから「学習療法が得意な施設を目指す」ことを新たに目標として設定しました。具体的な対策として「スタンダードキープ」や「学習療法特化施設宣言」など掲げ、全職員が学習に関与するシステムづくりなどから得られた、施設から在宅への切れ目のない学習支援事例を紹介しました。



事例発表への感想・ご意見から

- ⑥養成校で学んでいる者ですが、今後、色んな人に喜んでもらえるよう、楽しい介護を目指そうと思う時間でした。
- ⑦事例発表を参考にして、気持ちも新たに取組んでいこうと思った。
- ⑧事例発表に驚きました。スライドの資料が欲しかった。
- ⑨介護者のスキルアップを期待して、楽しみに導入していきたい。
- ⑩施設の方々が利用者のために努力されていることが良くわかりました。
- ⑪事例発表はどれもよかったです。

【事例4】

学習療法の導入から 脳健康教室への展開の軌跡 ～施設から地域へ～

社会福祉法人／みずほ厚生センター(臼杵市)
四季の郷デイサービス所長／疋田正三

認知症の方の予防・改善と職員のコミュニケーション能力向上などを目的に、法人内の事業所で学習療法を導入しました。今日までの取り組みの経験と実績を地域のために活用できないかと考えました。介護予防・認知症の予防、さらにはサポートするスタッフの人材育成をすることで、明るく・元気な臼杵市にしていこうを目標に取り組み始めたのが「脳健康教室」です。参加者の笑顔を見て、地域包括ケアシステムの柱となることを確信した導入経過報告です。



受付・展示コーナー



開場前にシンポジウムの成功に向け
気合を入れる運営スタッフの面々



開場と同時に入場する参加者の皆様



四季の郷DS(臼杵市)
鳩友園(日田市)



笑顔でお出迎えの準備をする
受付係のスタッフの皆さん



和光園(宇佐市)
グランドホーム古国府(大分市)
センテナリアン(日田市)



くもん学習療法センター ひだか(日田市)



いずみの園(中津市) 聖心園(臼杵市)

総 評

◆くもん学習療法センター 代表 大竹洋司 様

【学習療法開発の歴史と現状】



簡単な読み書きと計算、そして楽しい会話で脳を元気にするという学説は、今から14年前に、川島先生をリーダーとする国の共同研究プロジェクトとして明確に証明され、学習療法と名付けられました。

弊社は、このプロジェクトに教材製作の立場で加わらせていただき現在、導入いただいている事業所さんは、全国で1,600、また認知症の予防として取組まれている脳の健康教室は、240の自治体で導入されています。

【学習療法からの学び】

今日は、大分県の志の高い導入事業所の方々が、もっと学習療法を広めていき、もっと良い介護を目指して行こうと開催されたシンポジウムであることをお聞きし、本当に心より感謝いたします。私はこれまで、学習療法を導入された事業所の方々から、いろいろな事例を学ばせていただきました。例えば、単なる認知症の対策ではなく、職員さんのコミュニケーション力、気付き力、観察力の向上などです。本日もその事例に学ぶことが多々ありました。

【大分学習療法研究会への期待】

こういった学びを県下に広めていって、大分県の介護力が全国を引っ張っていくことを願っています。つまり、日本一の介護の手本になっていただきたいと思っています。今、世界が注目している日本の介護力です。日本一ということは世界一のお手本になるということです。

今後の研究会の活動に期待をすると同時に微力ですが応援したいと思います。

【欧米への展開】

学習療法は、3年前に始めてアメリカに導入し展開しています。その効果の様子が映画になりました。「僕がジョンと呼ばれるまで」です。つい先日、アカデミー賞のドキュメント部門にエントリーされました。12月には、ロサンゼルスとニューヨークで公開されることも決定しました。アメリカの関心度が高いことを意味していると思います。大分でも12月12日に日田市で自主上映会が計画されています。是非ご覧ください。

本日は、私にとっても本当に学び多い一日でした。ありがとうございました。

閉会あいさつ

◆大分学習療法研究会 副会長 吹田カズエ（和光園 事務長）

本日は、長時間お聞きいただきありがとうございました。

事例発表された事業所の皆様も、ご発表ありがとうございました。

学習療法は、毎日20分間の継続した支援です。その時間の中にはたくさんの感動があります。学習者や支援者が変わっていきます。

さらに、施設や地域のケアが変わっていきます。

本日のシンポジウムで大分学習療法研究会と皆様とのネットワークが広がりました。今日をきっかけとして、脳の健康教室をはじめ、学習療法の実践で、元気な地域づくりができるようになればと思っています。本日のご参加、誠にありがとうございました。



【編集後記】

大分県で初めて開催された、学習療法シンポジウム。別紙の参加者集計にもあるように認知症の方を支援する専門職や行政、自治体の方々など多くの方々にご参加いただきました。学習療法をもっと広め、元気な大分県にしなければと、強く感じたシンポジウムでした。参加していただいた皆様ありがとうございました！運営スタッフの皆様お疲れ様でした！